

平成25年度 吉野町協働のまちづくり推進交付金 採択事業が決定しました。

地域を根ざした住民活動団体が取り組む自主・自発的な公益的な事業について、公募により助成を行う「平成25年度 吉野町協働のまちづくり推進交付金事業」の採択事業が決定しました。

平成22年度より始まった本事業には、5団体からの応募があり、申請団体や申請事業に関する「熱意・個性」、「公益性」、「計画性と費用対効果」、「先駆性・発展性」等の観点から審査会において審査を行い、下記の5団体(事業)が採択されました。

	回数	団体名	事業名	事業の概要
1	3回目	喜佐谷 里山の会	村落の活性化	森林セラピーロードに認定された同地区には、年間を通じてたくさんのハイカーが訪れるため、地元村落の非耕作地を有効活用し、地元住民の交流と村落の活性化を図ることにより、観光振興を目指します。また、昨年に引き続き吉野宮滝野外学校との交流を深め、若者の田舎体験活動等の支援を行います。
2	1回目	吉野川左岸の景観を守る会	樹木・花の植え付け・管理等の事業	吉野川左岸の堤防沿いの景観を維持することを目的として、樹木の管理及び花の植え付け等を実施します。吉野川左岸の道は、吉野高校の通学路や住民の散歩道として利用されており、堤防からは吉野川の水鳥や野鳥が観察できます。水鳥の観察や散歩道を利用する人達が一服できるベンチの設置等を行い、憩いの場を創出します。
3	2回目	中竜門生きがい見附	野菜ファーム	地元住民が休耕田を活用し農作物を育て、収穫、加工、出荷することで、住民同士が交流を深め、住民の生きがいづくりの場づくりを目指します。
4	2回目	国栖の里ほりおこし会	惣菜宅配サービス事業に係る 地産地消野菜作り事業	平成25年3月16日に国栖の里惣菜センターをオープンし、高齢化が進む国栖地区の高齢者・一人住まいの家庭の健康づくりと各家庭の見守りを目的として、惣菜宅配サービス事業を開始しました。今年度は、惣菜の中身にもこだわり、安全安心な食の提供を目的として、地産地消の野菜作りを行います。また、この事業を通じて、国栖の里を訪れる観光客等のお土産品の開発にもつなげます。
5	2回目	ナチュラル・ツーリズム研究会	ビジット吉野 -吉野の良さを世界に紹介-	吉野の文化、歴史、自然をありのまま伝える着地型観光のモデル確率を目指し、観桜期のみの一時期の観光地から脱却すると同時に新規雇用や季節雇用を創出し、地元住民の吉野への誇りを高め、定住化を目指します。また、インバウンド観光を導入することで、事業者自らが吉野の資源(自然、歴史、文化、伝統、食)の価値を再発見すると同時に、地域を見直すきっかけにします。